1960年創立
国際ロータリー 第2510地区 日本 The Rotary Club of Otaru South. District No.2510
通巻 第2644号
35
2014年3月29日(土)発行

小樽南ロータリークラブ会報

ホームページ http://rid2510.org/otarusouth/
昭和35年2月5日 ●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

●2013-2014年度 Rotary International テーマ

Engage Rotary Change Lives

「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」

ロン D. バートンRI会長

強調事項 RI第2510地区 安孫子 建 雄 ガバナー (江別RC)

- ロータリーの基本を見つめ 変革するロータリーを実践しよう
- 「RIテーマ<ロータリーを実践し みんな豊かな人生を>の理解を深めクラブと地域そして世界で活躍するロータリアンになろう」

●今日 3月29日(土) のプログラム

◎IM「都市連合会」
点鐘 14:30 グランドパーク小樽 5F

●来週 4月3日(木) のプログラム

◎夜間例会
国際交流会議実施報告(中間)＆報告会
点鐘6:00～ 場所：ニュー三幸4階

●再来週 4月11日(土) のプログラム

◎「会員卓話」 高木正光会員

●第34回例会報告 3月14日(金) 「小樽水族館と私」 小田 誠 氏 (㈱小樽水族館館長)

■ロータリーソング■ 「我等の生業」

■ゲスト・ビジターの紹介■

小田 誠 氏 (㈱小樽水族館館長)
三栖 裕司 氏 (新入会員)
李 アルム さん (米山奨学生)

■奨学金の授与■ 吹越会長より

●イ アルムさん

先週は就活で東京にいたため例会に出席できませんでしたが、就活の進捗具合を報告させていただきます。50社位エントリーしまして、半分位は落ちたかなと思っておりますがその内何社かは1次・2次選考まで進む事ができ来週からまた東京に行きます。100社位受けまして70社位落ちるまで挑戦しようと思っております。これからもめげずに頑張って参ります。

■新会員入会式■

●三栖 裕司氏
㈱宝樹造園代表取締役

このたび、歴史ある小樽南ロータリークラブに入会させていただきました。これからは多少なりロータリー活動に貢献出来るよう努力いたしますのでどうぞよろしくお願いいたします。(所属：会員親睦委員会)

■会 長 報 告■ 吹越会長

・本日の例会スピーカー小樽水族館館長小田 誠様のお話をとても楽しみしております。

■幹 事 報 告■ 山村幹事

・2013年手続要覧が届いておりますクラブ5冊購入いたしました管理は事務局でしておりますのでご利用ください。
・銭函RC例会変更のお知らせ：
3/20(木)休会を「通常例会」点鐘12:30に変更。
3/27(木)夜間例会を「通常例会」点鐘12:30に変更。
4/3(木)通常例会を「夜間例会」点鐘18:00に変更。
・余市RCより会報が届いております。

■会 員 結 婚 祝■ 3月に結婚された会員

3/11梶会員 /12村越会員 /18本間(清)会員 /19唐橋会員 /23板垣会員

■委員会・同好会報告■

◎職業奉仕委員会 本間清治委員長

・来る4月18日(金)小樽市民センターマリンホールにて夜間移動例会「松前神楽公演」を開催いたしたくご案内いたします。国の「記録・保存すべき文化財」に指定されています松前神楽をご堪能下さい。点鐘 pm18:30～ 夕食後～ pm19:00～ から開演予定です。ホールも広く、入場無料でもありますので会員みな様のご家族のみな様方・友人・知人方々にお声を掛けていただき多くの皆さま方にご鑑賞いただければと存じます。よろしくご配慮、ご高配をお願い申し上げます。

■例会プログラム

小樽水族館と私

小田　誠氏

●小田　誠氏　プロフィール

1949年小樽市生まれ。64歳。東海大学海洋学部卒業後、小樽水族館公社に勤務。魚類・海獣類の飼育を長年経験し、2005年取締役館長に就任。国内で初めての繁殖に成功し、誕生後6ヶ月以上飼育した生物種に授与される「公益社団法人日本動物水族館協会」の「繁殖賞」を1982年「オットセイ」、「ヌマガレイ」で受賞。同協会の北海道ブロック代表理事を歴任。学芸員。小樽市在住。趣味は多肉植物の栽培。

◆おたる水族館

おたる水族館は、小樽水族館公社（第三セクター）が北海道小樽市で運営する水族館である。　ー出典：フリー百科事典「ウィキペディア (Wikipedia)」

◆概　　要

1958 年 7 月に北海道博覧会の「海の会場」として建設され、1959 年に「小樽市立水族館」として営業を開始した。1974 年に新館（現本館）竣工と共に第三セクター小樽水族館公社による経営となった。

豊富な種類の魚介類を展示している本館、イルカ・オタリアのショーが楽しめるイルカスタジアム、アザラシ、セイウチ、トド、ペンギンなどが飼育されている海獣公園、遊園地「小樽祝津マリンランド」で構成されている。海獣公園は自然の入り江を利用しており、海鳥も飛来している。海岸から野生のトドやゴマアザラシが迷いこむことがあり、そのまま飼育される例もある。

営業時間は通常 3 月の春休み期間（以前は 4 月）から 11 月までだが、2006 年からは小樽雪あかりの路・さっぽろ雪まつりと連動した冬季営業も行っている。2011 年から実質通年営業に切り替えた。

「沖縄美ら海水族館」開業までは「東洋有数のスケール」をキャッチフレーズにしていた。

■出席委員会■

・平成26年３月14日

会員総数　70名　本日の欠席者　17名

浅村、小笠原、角野、工藤、永原、濵本、野村、高木(成)、鈴木、廣部、富永、佐藤(公)、柴田、福島、坪井、大谷、山田(正)

・平成26年２月28日

会員総数　69名　出席摘要免除者数　17名

病欠者　０名　ホーム欠席者数　16名

メーキャップ数　１名　純欠席者数　15名

確定出席率　76.56％

■メーキャップ■

３/８　工藤、柴田、廣部、鈴木（国際交流）

３/５　山田（正）（札幌ＲＣ）

３/11　福島（小樽ＲＣ）

３/９　加藤（地区）

●記事担当/東会員